

平成30年度 障害者グループホームサービスの振り返り研修会 開催要綱

～サービスの振り返りを通じて、利用者満足・職員満足へ～

1. 目的

障害者グループホームに暮らす方たちは、年齢や障害の程度、生活歴なども様々に異なっており、それぞれが必要としているサービスや求めている支援の内容も多様性に富んでいます。支援現場では、一人ひとりの「個の暮らし」を守る権利擁護の視点、夜間や緊急時の対応、重い障害のあっても地域で暮らすことのできる手厚い配慮など、バランス感覚に優れた質の高いサービスが求められています。

しかしながら、そもそもサービスを担う人手が足りない、ローテーション勤務により職員全員が集まることができないなど、ホーム全体で利用者支援のあり方を話し合い・すり合わせたいと思っても、サービスの振り返りを行うことが難しい現状にあります。また、自己評価に取り組んでいても、具体的な実務に落とし込んでいくこと、評価結果を深めていくことが難しいといった声も聞かれます。

そこで、本研修会では、障害者グループホームにおける福祉サービス評価（自己評価・利用者調査・第三者評価）の活用方法や実践報告、振り返りの模擬体験などをもとに、自職場でサービスの振り返りを効果的に進めるヒントを探ります。

2. 対象者 神奈川県内の障害者グループホーム運営及び支援に関わる方（2名一組）

次の①②に該当する方々、2名一組でお申し込みください

- ① 障害者グループホームの支援現場に携わる方（生活支援員、世話人等）
- ② サービスの振り返り・自己評価等を取りまとめる立場にある方
（管理者、サービス管理責任者、母体施設の職員、運営法人の役職員等）

3. 日時 平成30年9月11日（火）、午前10時～午後3時30分

4. 会場 県社会福祉会館2階 講堂（予定）

5. 定員 20組40名（先着順）

6. 受講料 1組につき4,000円（2名分）

7. プログラム ※裏面参照

8. 申込方法・締切

- ・ 8月31日（金）正午までに別紙申込書をファクス送信してください。（先着順）
- ・ お申込みいただいた全員へ受講可否通知を送付します。
- ・ 受講決定者に振込用紙を郵送しますので、9月7日（金）までに振込手続きを行ってください。

9. 問合せ、申込先

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会

福祉サービス推進部 かながわ福祉サービス第三者評価推進機構

〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2 県社会福祉会館内

TEL：045-290-7432 FAX：045-320-4077 e-mail: daisansya@knsyk.jp

- ◆ ①の方は、非常勤・アルバイトなど勤務体系は問いません。経験年数の浅い方にもご参加いただけます。
- ◆ 支援の振り返りの持ち方に課題を感じている管理者の皆さん、「母体施設職員と生活支援員」「新任職員とOJT担当者」の方など、ぜひ一緒に参加ください。

■プログラム（予定）

※当日の状況により、スケジュールは適宜変更します。

時間	内容	講師等
9:55～10:00	オリエンテーション(受付開始9:30)	事務局
10:00～11:30 (90分)	<p>【講義】 プロセス重視の自己評価の提案 ～信頼でつながるチームづくり～ 福祉サービス評価の基本、自己評価のねらい、具体的手順、進め方のポイントを学びます。</p> <p>【体験報告】 福祉サービス評価の実際 受審事業者から、サービス評価に取り組むきっかけ、スケジュール、評価後の取り組みなど、体験談をレポートいただきます。</p>	<p>【講師・進行】 神奈川県立保健福祉大学 准教授 在原理恵氏</p> <p>【体験報告者】 社会福祉法人湘南の風 グループホームジャストサイズ 施設長 鈴木 創 氏</p>
11:30～11:40	休憩（10分）	
11:40～12:20 (40分)	<p>【自己評価・振り返りの模擬体験】 障害者グループホーム第三者評価項目(40項目170事項)を活用した自己評価を踏まえ、サービスの振り返り（話し合い）を行います。</p>	<p>【進行】 在原理恵氏 【進行補助】 鈴木創氏</p>
12:20～13:10	昼食休憩（50分）	
13:10～14:40 (90分)	<p>【グループワーク】 どうすればうまくいく？ 質の向上につなげるためのサービス評価 自己評価と振り返りの模擬体験を踏まえて、サービス評価や事業の振り返りの効果的な進め方、具体的な実務の見直しにつなげていくためのヒントを探ります。</p>	<p>【進行】 在原理恵氏 【進行補助】 鈴木創氏</p>
14:40～14:50	休憩（10分）	
14:50～15:30 (40分)	<p>【まとめ】 サービスの振り返りを通じて、利用者満足・職員満足へ ～自己評価と第三者評価～ 模擬体験やグループワークを踏まえて、自己評価の活用方法、第三者評価の意義について理解を深めます。</p>	<p>【進行・まとめ】 在原理恵氏 【コメント】 鈴木創氏</p>

FAX 送信先：045-320-4077

平成30年度障害者グループホームサービスの振り返り研修会

参加申込書（9/11 開催）

※いただいた個人情報は目的外に使用いたしません。

運営主体 法人名				
事業所名				
主たる利用者 <small>○で囲む(複数可)</small>	知的障害・精神障害・身体障害・発達障害・難病			
運営する グループホーム数	戸（住居単位）	グループホームの 総利用者数	人	
職員数 (兼務含む)	常勤： 人、非常勤： 人（うち世話人数： 人）			
連絡先	〒			
	電話：	FAX：		
参加者名 <small>※参加区分①② は要綱参照</small>	区分	ふりがな 氏名	役職	経験年数 (グループホームに限る)
	①			年 月 ※H30.8 末日現在
	②			年 月 ※H30.8 末日現在
過去に自己評価に取り組んだことがありますか？ : <u>ある・ない</u> <small>(いずれかに○をつけてください)</small>				
【受講動機、自己評価に取り組むための課題や悩み等について、ご記入ください】				

締め切り：平成30年8月31日（金）正午必着